



2016～2017年度
国際ロータリーのテーマ
人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度
名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
さらなる前進

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

Weekly Report

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：八木沢幹夫
幹 事：関谷 俊征
クラブ広報委員：星野 一郎
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋1504号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1754回例会

～新クラブ結成推進月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2016年8月25日(木) 曇り 第7回 ガバナー公式訪問・2RC合同例会
於：ヒルトン名古屋5階「銀扇の間」

司 会：湯澤信雄会場委員長
斉 唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲ ス ト：RI第2760地区ガバナー 服部良男さん
RI第2760地区幹事 岩月昭佳さん

会長挨拶

八木沢幹夫会長

今年度は名古屋瑞穂RCがホストとして、ガバナー公式訪問を開催させていただきます。

名古屋南RCは、名古屋瑞穂RCの親クラブで、今年度60周年を迎えるということです。その後に名古屋瑞穂RCは40周年を迎えます。

先程、服部ガバナーと岩月地区幹事と懇談を行いました。マイロータリーとクラブセントラルの登録をよろしく願いしますということでした。後程卓話で詳しくお話し頂きます。



ニコボックス

湯澤勇生ニコボックス委員長

・2760地区服部ガバナー、岩月地区幹事よりご祝儀を頂きました。

服部良男ガバナー 岩月昭佳地区幹事

出席報告

湯澤勇生出席委員長

会員66名 出席37名(出席計算人数46名)

出席率 75.9% 8月18日は補填により 81.5%

幹事報告

関谷俊征幹事

・9月1日(木)11:00から長期ビジョン委員会を、13:40から第3回理事会をヒルトン名古屋「梅の間」にて行います。

2RC会長登壇



(左)名古屋南RC会長 馬場研治さん (右)名古屋瑞穂RC会長 八木沢幹夫さん

2RC合同会長・幹事懇談会



例会前に、服部良男ガバナー・岩月昭佳地区幹事をお迎えして2RC合同会長・幹事懇談会が行われ、有益なご指導を賜りました。

卓話

RI第2760地区ガバナー 服部良男さん

ご紹介頂きました、ガバナーの服部良男です。ガバナー補佐の報告を見ると、両クラブともそれぞれ特徴がある素晴らしいクラブで、楽しみにして参りました。両クラブとも長期ビジョンがあり、特に名古屋南RCは国際RIより先に長期ビジョンを始めており、大変勉強になりました。ガバナーを拝命して、いかにロータリーを知らなかったか、いかにロータリーが素晴らしい組織であるのかということを実感しております。

ジョンF・ジャームRI会長はロータリー歴40年で、ポリオプラスの委員長でもあり、財団に貢献された方でいらっしゃいます。今年は財団100周年という事で、アトランタの国際大会に向けて大変盛り上がっております。当地区はRI理事の斎藤パストガバナーから大勢の参加を呼びかけられておりますので、是非をお願いします。

今年の会長テーマはRotary Serving Humanity～人類に奉仕するロータリー～です。ポリオ撲滅と、RI財団100周年を祝うため、各クラブでも事業を行いましょうということです。会長のスピーチでは、ロータリーは人々に奉仕し続けるということを強調していました。毎日ロータリアン一人一人が奉仕活動することがロータリーの原点であり、ロータリアンは毎日の生活で困っている人がいたら、絶対に背を向けずにその人を笑顔にしようとおっしゃっていました。一人が困っている人を笑顔にしようとしたら、仲間のロータリアンが奉仕の輪を拡げていく事、これがロータリーだという事が、会長の一番大きな思いであります。

2760地区は会員が一番多かった時から、約2割の会員が減っています。



国際的には、先進国はドイツを除いて全て減少しております。そこで考えられるのはブランドマーケティングで、これがRIの戦略計画だと思います。持っている強みや価値を共有し、サービスを作りあげ、提供時に明確にブランディングして価値を伝えることがプロセスであると思います。

ロータリーのブランドは中核的価値です。1つ目はFellowship、親睦です。Fellowとは同じ目的を持った仲間の事で、Shipはその関係を維持し、仲間を続けていくという事です。

2つ目のブランドは、Integrity、高潔性、倫理性で、ロータリーの心臓部分です。

3つ目のブランドは、Diversity、多様性です。RCは許容と多様性の中で、同じ目的に向かって111年間歩み続けています。

4つ目はLeadershipです。ロータリーでのリーダーはビジョンを実現でき、リーダーであり続けることに加え、ロータリーを通じてリーダーシップについて勉強し、地域に役立っていくことです。

そして、Service、奉仕は、ロータリーが人々に与えられる唯一の言動や行動です。困っている人がいたら一緒に考え、出来る事をし、その人を笑顔にする活動のことをいいます。サービスを提供する人達が笑顔でなければ、サービスを受ける人達は笑顔になりません。我々が笑顔になるには各クラブで親睦活動をする事です。私の会社では、人が人に価値を与える言動や行動をし、それを受けた人が言動や行動に感謝して笑顔になる事がサービスであると提唱しました。ロータリーも人と人とが関わる事が原点ではないかと思っています。

世の中は、高度成長の中で人が笑顔になる原点から、経済軸が優先されるようになり、儲かる事、対価を取れるサービスを行ってきました。ロータリーが今まで続いた理由と、これからもっと必要になってくる理由は、対価を取るためにサービスをしていた事が見直されてきたからだと思います。

第2760地区の方針をBe The Rotarian, Find a Rotarian～真のロータリアンになる、ロータリアンを見つけよう～にしました。私が入会した時、ロータリアンの義務は会費を払い例会に出席し、ロータリーの友を買う事と言われました。では、会費を払って例会に出席していれば真のロータリアンと言えるのでしょうか。真のロータリアンというのは、高潔性、リーダーシップを磨きながら親睦をし、人を笑顔にして自分を磨いていく中で人道的奉仕活動を行っていく事です。そして、ロータリアンの奉仕活動を地域の人に伝え、仲間に入れて一緒に活動をし、ロータリーの価値を知って新しいロータリアンになってもらうのが、RI会長の言うテーマではないかと思っています。

私はガバナーになってすぐはエレクトを誰にしようかとずっと考えていましたが、将来を見据えてロータリーの生涯を考えよと言われました。ガバナーの時に何かをやるのではなく、ガバナーの時に仕掛けて、10年後にその地区が上手くいっている事をしなさいと言われました。自分に光を当てず、人に光を当てて下さいということです。つまり、新しいロータリアンや若いロータリアンを勧誘し、退会を防ぐには過去と現在ではなく、将来を見据えたビジョンやあるべき姿を明確にし、ロータリアンでない地域の人々に分かる表現や言葉でロータリーブランドを伝えていく事が必要だという事です。2760地区は日本の34地区の中でも最も輝いている地区の一つだと思いますが、今年は10年後もこの輝きが残る事を仕掛けていく最初の年であり、私に与えられた課題であると考えています。

そんな地区の戦術1つ目は、マイロータリーに登録し、ロータリーブランドの再確認をする事です。マイロータリーはRIの5つのブランドを123万人で共有する道具です。地区の情報をロータリアン同士で共有して、すごい事業に刺激を受け、皆で拡げていくためのツールがマイロータリーです。

2つ目は、クラブセントラルの登録で、クラブセントラルは各クラブの奉仕活動の計画と実績、会員増強、財団への寄付などを16項目に分けています。こちらでも他のクラブがどんな奉仕活動を行い、成果を上げているのか共有できるツールです。マイロータリー、クラブセントラルに登録し、ロータリアンの認知度の向上をしようという事です。

3つ目の戦術として、良い事をしているブランドを地域の人に伝えていくためにFacebook、ホームページを変えています。ロータリーが何をやっているかと、困った時に助けてくれるという事は誰も知らないわけです。ある会員の方が、ロータリーは待っていては駄目だ、もっと何かを掴みに行かなければいけないと言いました。困っている人達がロータリーに来れる形になるように、公共イメージを普及していく事が、これから10年後、20年後にロータリーに色んな要請が来る事に繋がります。

私の目標は、クラブのマイロータリー登録率50%と、入会3年未満の会員は登録率を100%にする事です。この2RCは当地区の中では登録率が一番高いクラブですので、誇りを持って頂いても良いと思います。登録率の達成をこの1年の間にしていなければ、他のクラブに対する一つの刺激になるかと思っています。マイロータリー登録にあたり、各クラブの責任者、担当者がどんな情報があるのかを他の会員に伝えて頂かないと価値が分かりません。今年で全て出来るとは思いません。マイロータリアンに専任された人達と、地区の向上委員会のメンバーが繋がりながら、じっくりと時間をかけて、しっかりとしたシステムにしていきたいと思っています。若い人達が入ってきて、ロータリーで何かしたいと思うようになるには、公共イメージの向上を各地区の特徴に合わせてやらなければいけないと思います。ご理解いただいて、マイロータリアンを選任していただき、その人達がネットワークになっていくステップまで行いたいと思います。

RIの戦略計画は、人道的奉仕活動を増やそう、公共イメージと認知度の向上、各クラブのサポートと奉仕の強化です。両クラブとも社会奉仕活動などをしっかりやっていますが、他のクラブでは地区にお金を出すだけが奉仕活動になっているところもあります。人道的奉仕活動の尺度はクラブセントラルにあります。奉仕活動に参加するボランティアの人数×奉仕時間を入力する事になっています。奉仕した人数をどれだけ増やしていくのか、そして参加した人達がどれだけ時間をかけるのか。これをするために各クラブで柔軟性を持った例会などを行っても良いという事が規定審議会の一つの決定であると思います。是非ホームページを見ていただければと思います。

ガバナーは上から指示を出す立場ではありません。この2つのRCが笑顔で楽しく、人道的な価値ある支援をして頂きたいと思っています。

例会のご案内

■今週の卓話	9月1日(木) 卓 話 者： 特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構国内事業部 チー ム 長 山 上 正 道 さん テ ー マ： AMDA-MINDS(アムダマインズ) の活動とロータリークラブとの連携について
■次週の卓話	9月8日(木) 卓 話 者： フリーアナウンサー 神取恭子さん テ ー マ： 舞台挨拶の舞台ウラ
■次々週行事	9月15日(木) なごやか例会 場 所： ヒルトン名古屋 28 階「One O Five」 時 間： 18：00～20：00